

2024年度組織強化月間報告

友の会、職員が積極的に活動を展開

10月・11月の組織強化月間として友の会、職員で目標を立てて取り組んだ結果を報告します。

仲間づくりに成果と課題

尾張健康友の会 事務局局長 水谷 龍雄

今年度の組織強化月間は、暑い「秋」、続く戦争、うれしい「日本被団協」ノーベル賞、いきなり総選挙など慌ただしい中で展開されました。

友の会は、それぞれの支部が課題を持って取り組み、全体として会員数が9名(うち職員4名)増えました。民医連誌「いつでも元気(別冊)」の普及の働きかけで、2支

部で成果がありました。家族健康まつりでは各支部が工夫し、積極的な出店や係分担で盛り上げに貢献しました。

「支え合う仲間づくり」はどの支部でも常に大きな課題です。ニュース配達コースを見直したり、会員訪問など進行中の支部もあり、今後に生かす貴重な取り組みでした。班会づくりの動きも見られ、引き続きの対応が期待されます。

自治体キャラバン報告(一宮市)

職員は、11月10日の家

グループホーム居住者への対策を要望

11月26日、延期になっていた一宮市との自治体

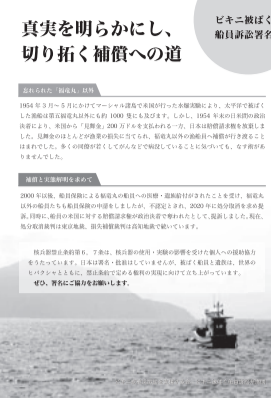
キャラバンが開かれました。職員代表9名が出席し、萩原グループホームちあきの岩田衣代所長が

ご協力ください! 「公正な判決を求める署名」

1954年3〜5月にかけてマースシャル諸島で米国が行なった水爆実験により太平洋で被爆した漁船は、第五福竜丸以外にも約1000隻に及びます。同年末の日米

間の政治決着により、米国から「見舞金」500万ドルが支払われましたが、日本が賠償請求権を放棄したため、福竜丸以外の漁船員へ補償が行き渡りませんでした。

2000年以後、福竜丸船員への医療・遺族給付がされたことを受け、他の船員たちも船員保険を申請しましたが不認定とされ、2020



後、福竜丸船員への医療・遺族給付がされたことを受け、他の船員たちも船員保険を申請しましたが不認定とされ、2020

年に処分取り消しを求め提訴。同時に、船員の米国に対する賠償請求権が政治決着で奪われたとして提訴し、東京地裁で裁判が続けられています。核兵器禁止条約第6、7条は、核兵器の使用・実験の影響を受けた個人への援助協力をうたっています。被爆船員と遺族は、世界のヒバクシャとともに、禁止条約で定める権利の実現に向けて立ち上がっています。ビキニ被爆船員訴訟「公正な判決を求める署名」にご協力ください。



右奥が岩田さん

ボランティア紹介

誰かのために

稲本 芳文(74)

佐野眼科の頃から家族でお世話になっていました。また、介護の大変さも経験したことで、「誰かのためになること」をやってみようと思ふようになりました。友の会ニュースで、ねこの手ネットのボランティア募集も見ていたのが佐野先生から友の会を勧められたつながりが大

所して時間が取れるようになった一昨年、ボランティアを申し出ました。今では、利用する方からの「ありがとう」や「お世話になります」の言葉に、役に立てていると実感し、やりがいになっています。これからも自分の体が動くうちはボランティアを続けていきたいと思っています。

ボランティア大募集

ねこの手ネットとは 高齢者の日常生活を支えて20年、「ねこの手ネット」は有償ボランティアによる生活支援のNPO法人です。利用者さんに喜ばれ、人の役に立っているというボランティアの実感。利用者さんの日常生活に良い刺激となり、ボランティアの生きがいにもつながる好循環。

まずは週1回の送迎ボランティアから、携帯電話の使い方や一緒に散歩することなどあなたが活躍しています。

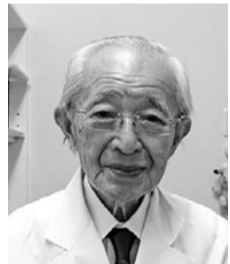
NPO法人 生活助け合い
ねこの手ネット
外出支援
ボランティア
募集中!
詳しくは藤嶋まで
☎0586(81)1090

年はじめにあたり

尾張健康福祉会 理事長 佐野 正純(今年96才)

みなさま、あけましておめでとうございます。今年には8回目の年男になるわけですが、顧みれば大正ロマンがまだ漂う戦前から、撃ち

尋常小学校に入学して国民学校で卒業し、旧制中学では期間の半分は授業を放棄して工場勤務。1年生で英語の授業は廃止で、4年生後半からは英語重視。卒業は4年から5年にと猫の目のような変遷に翻弄され、私の青春の半分は戦争でなくなりまし



今年には巳年、私に脱から奇跡的な復興をとげる戦後まで、まさに激動の時代を生き抜いてきました。

戦闘が行なわれ、プーチンは核兵器の使用をちらつかせて人々を威嚇していますが、昨年末に日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞するなど、核廃絶の声は世界中に高まるばかりです。核のない平和な世界実現のため平和憲法を忠実に護り、今年もがんばりましょう。

介護しているアナタ! お話し聴きます
~認知症・介護支援の達人!ここに参上!!~

■日時 1月29日(水)13:30~15:45
(おひとり30分程度相談できます)

●会場 団樂の家おおいほんまち
一宮市大江3-1-20

●対象者 認知症状の介護でお悩みの方

◎問い合わせ
・申込み(先着順)
一宮市地域包括支援センター まちなか
☎0586-85-8672
平日9~17時